

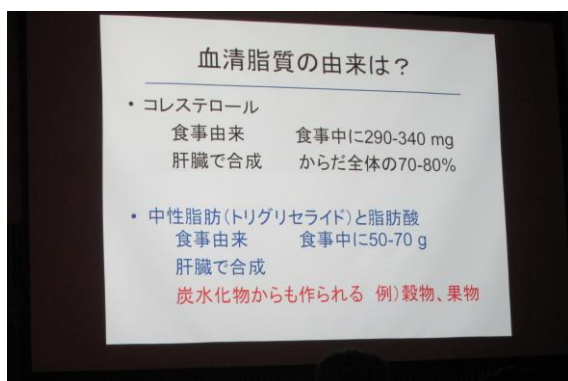
平成 29 年 5 月 28 日（日）須磨区役所にて、第 6 回須磨医療フォーラムが開催されました。当日は行楽日和の見事な晴天でありましたが、約 180 名の方にご来場いただき、盛況のうちに会は終了致しました。

今回は「よくわかる高脂血症」がメインテーマ。松井誠一郎須磨区医師会会長の挨拶の後、村上啓治先生の司会進行のもとフォーラムは進められました。



まずは神戸学院大学臨床栄養学教授の藤岡由夫先生によるコレステロールと心筋梗塞のお話がありました。コレステロールと中性脂肪は違うものであるというところから説明がありまして、卵を食べてコレステロールの上がる人もいれば全く上がらない人もいるなど最新のお話がありました。コレステロールは摂っても良いが、色々バランスよく摂りましょうというお話。至極まっとうな話ですが、改めて説明されると納得です。

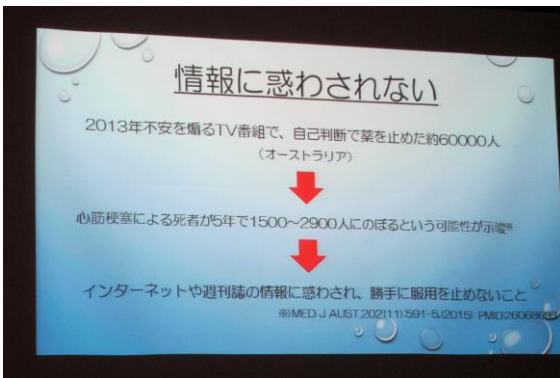




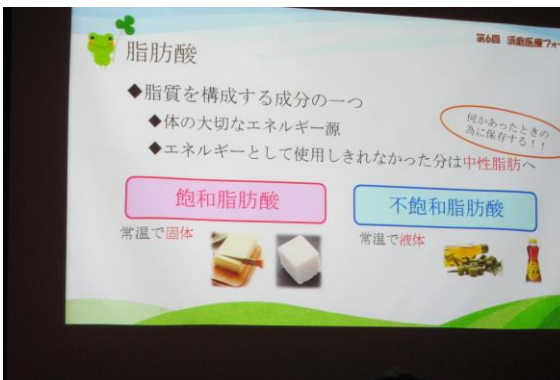
続いて、歯科医師会の小林正樹先生が、歯周病と高脂血症の関係について、良く噛むとたくさん食べなくても満足感満腹感が得られるのでカロリーの取りすぎ予防にもなること、歯周病はメタボリックドミノの上流にありそうだななど為になるお話でした。



そして、薬剤師会の黒田泰司先生によるコレステロール薬についてのお話がありました。コレステロールは夜間に体内で合成されるので、コレステロールのお薬は夕食後に内服が好ましいといった話や、少し前日本でも流行った、コレステロールの薬に関する過度なマスコミ報道に関して、オーストラリアでは2013年に同様の報道で60000人が薬の内服を自己中断して、そのためその後5年間で心筋梗塞での死亡者が1500-2900人発生したとのお話がありました。



4人目は、神戸医療センター管理栄養士の奥田沙慧先生によるコレステロールと食事についてのお話でした。マーガリン等常温で固形の油は控えめにして、EPA等の油は積極的に摂りましょうとのお話でした。



そして、第二部として今回から始まった「医療と介護の架け橋」では、医師会の松井会長から高脂血症が原因となる介護の必要な病気の話や、介護事業の基本的なところから説明がありました。



2時間を超える長丁場でしたが、色々と得るところも多かったように思います。皆様お疲れ様でした。